

家族との連絡方法

書き込み欄

災害時に救急隊、医療機関に提供したい情報も記入しましょう。

集合場所

連絡中継点

災害時は、被災地から被災地外への電話は比較的つながりやすいと言われています。親戚や友人に連絡の中継点になってもらえるように事前をお願いしておきましょう。

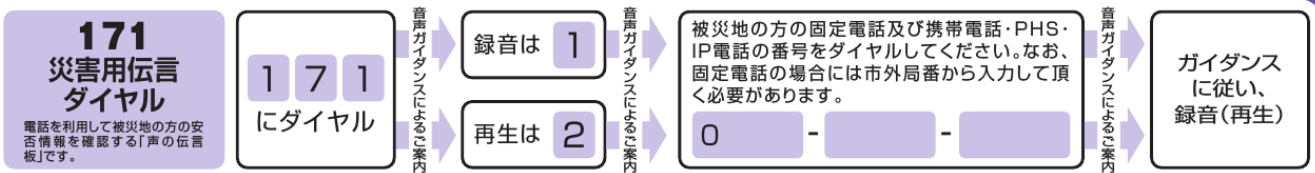
連絡方法

家族の連絡先

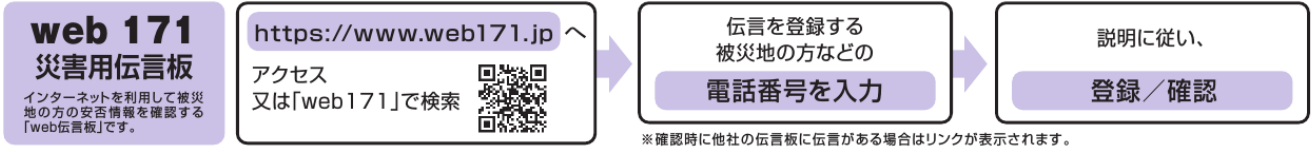
なまえ 携帯電話番号 連絡先(会社・学校など)	なまえ 携帯電話番号 連絡先(会社・学校など)	なまえ 携帯電話番号 連絡先(会社・学校など)
なまえ 携帯電話番号 連絡先(会社・学校など)	なまえ 携帯電話番号 連絡先(会社・学校など)	なまえ 携帯電話番号 連絡先(会社・学校など)

あなたの無事を伝えましょう

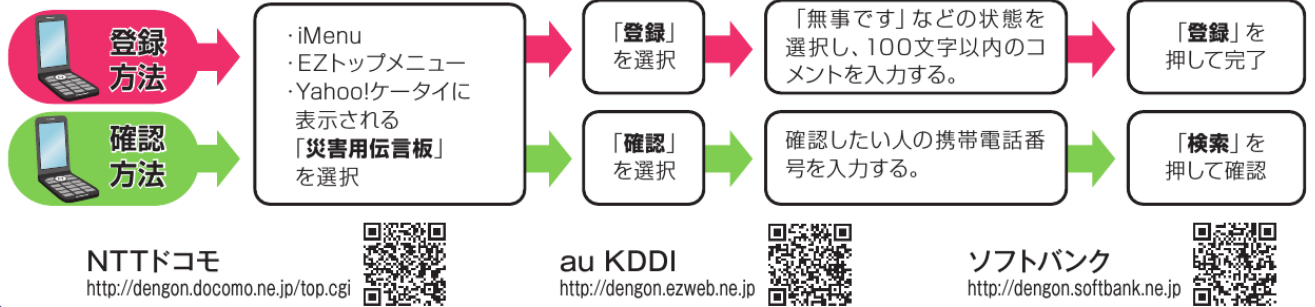
体験利用日:「毎月1日及び15日」、「正月三日」、「防災週間」、「防災とボランティア週間」



災害用伝言板(パソコン・スマホ用)



災害用伝言板(携帯電話用)



風水害への備え

大雨や強風はこれまでに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

注意報・警報の基準

注意報	大雨注意報	大雨が原因となる地面現象または浸水によって、災害が起こるおそれがある場合に発表。なお、浸水による災害のうち、河川の増水による浸水に対しては洪水注意報となる。
	洪水注意報	洪水によって、災害が起こるおそれがある場合に発表。
警報	大雨警報	大雨が原因となる地面現象または浸水によって、避難行動が必要となるような重大な災害の起こるおそれがある場合に発表。なお、浸水による災害のうち、河川の増水による浸水に対しては洪水警報となる。
	洪水警報	洪水によって、避難行動が必要となるような重大な災害の起こるおそれがある場合に発表。
警特別	大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合。

雨の強さと降り方

予報用語	1時間雨量(mm)	人の受けるイメージ	屋外の様子
やや強い雨	10以上20未満	ザーザーと降る。	地面一面に水たまりができる。
強い雨	20以上30未満	どしゃ降り。	
激しい雨	30以上50未満	バケツをひっくり返したように降る。	道路が川のようになる。
非常に激しい雨	50以上80未満	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く。)	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。
猛烈な雨	80以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。	

風の強さと吹き方

予報用語	平均風速(m/s)	人への影響	屋外・樹木の様子	建造物
やや強い風	10以上15未満	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	樋(とい)が揺れ始める。
強い風	15以上20未満	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。
非常に強い風	20以上25未満	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。
	25以上30未満			固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。
猛烈な風	30以上35未満	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。
	35以上40未満			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。
	40以上			